



Kitsuki Shigikai
Dayori

きつき市議会だより

令和元年6月1日発行



石山天空橋が完成しました。
(大田杵築線溝井工区開通)

2019

6

No.52

副議長・各常任委員会構成決まる

正・副議長 就任あいさつ



議長
渡辺 雄 爾



副議長
田中 正 治

薫風の候、皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、去る4月21日に任期満了に伴う杵築市議会議員選挙が行われ、18人の議員が選出されました。それを受けまして、5月8日に開催された臨時議会において、私どもが議長・副議長に就任いたしました。

もとより浅学非才の身ではありますが、全力でその職責を果たしてまいりたいと考えていますのでよろしくお願い申し上げます。

本年は新天皇陛下が即位され、元号が「平成」から「令和」へと変わり、新たな歴史の幕開けとなる年であります。

杵築市では合併後13年が経過して、新市全体の一体感意識はかなり高まっております。しかし、社会や経済の情勢はめまぐるしく変化し、本市においても少子高齢化、急激な人口減少問題を筆頭に克服すべき多くの政策課題を抱えています。

私ども議会といたしましても、市民の皆様の要望に目を向け、耳を傾け、開かれた市議会、市民の負託に応えられる市議会を目指して全力を傾注してまいります覚悟であります。

引き続き、市民の皆様にはご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。

5月8日 市議会臨時会にて 議長・

総務常任委員会 6人

※秘書広報課、総務課、危機管理課、財政課、政策推進課、協働のまちづくり課、税務課、人権・同和対策課、山香振興課、大田振興課、会計課、議会事務局、選挙管理委員会及び監査委員の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項



委員長
小野 義美



副委員長
堀 典義



委員
渡辺 雄爾



委員
真鍋 公博



委員
工藤 壮一郎



委員
多田 忍

厚生文教常任委員会 6人

※福祉推進課、健康長寿あんしん課、子ども子育て支援課、市民課、生活環境課、医療介護連携課、病院及び教育委員会の所管に属する事項



委員長
阿部 素也



副委員長
泥谷 修



委員
真砂 矩男



委員
加来 喬



委員
藤本 治郎



委員
坂本 哲知

産業建設常任委員会 6人

※商工観光課、農林課、耕地水産課、建設課、上下水道課及び農業委員会の所管に属する事項



委員長
二宮 健太郎



副委員長
富来 征一



委員
小春 稔



委員
田中 正治



委員
田原 祐二



委員
衛藤 竜一郎

常任委員会以外の委員会構成

	委員会名	役職	氏名
1	議会運営委員会 (定数6名)	委員長	小 春 稔
2		副委員長	堀 典 義
3		委員	真 砂 矩 男
4		"	藤 本 治 郎
5		"	田 原 祐 二
6		"	真 鍋 公 博

	委員会名	役職	氏名
1	広報公聴委員会 (定数6名)	委員長	田 原 祐 二
2		副委員長	藤 本 治 郎
3		委員	二 宮 健 太 郎
4		"	工 藤 壯 一 郎
5		"	衛 藤 竜 一 郎
6		"	多 田 忍

一部事務組合議会及び広域連合議会への派遣議員

	議会名	氏名
1	別杵速見地域広域 市町村圏事務組合 (定数7名)	真 砂 矩 男
2		富 来 征 一
3		小 春 稔
4		二 宮 健 太 郎
5		堀 典 義
6		阿 部 素 也
7		真 鍋 公 博

	議会名	氏名
1	杵築速見消防組合 (定数5名)	藤 本 治 郎
2		田 中 正 治
3		泥 谷 修
4		田 原 祐 二
5		坂 本 哲 知

	議会名	氏名
1	後期高齢者医療広域連合 (定数1)	渡 辺 雄 爾

	議会名	氏名
1	杵築速見環境浄化組合 (定数5名)	加 来 喬
2		小 野 義 美
3		工 藤 壯 一 郎
4		衛 藤 竜 一 郎
5		多 田 忍

令和元年 第1回臨時会 審査結果表

番号	案 件 名	採決結果
[報 告]		
2	専決処分の承認を求めることについて (平成30年度杵築市一般会計補正予算(第9号))	承認
3	専決処分の承認を求めることについて (平成30年度杵築市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第5号))	承認
4	専決処分の承認を求めることについて (平成30年度杵築市国民健康保険特別会計補正予算(第4号))	承認
5	専決処分の承認を求めることについて (平成30年度杵築市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号))	承認
6	専決処分の承認を求めることについて (平成30年度杵築市簡易水道事業特別会計補正予算(第4号))	承認
7	専決処分の承認を求めることについて (平成30年度杵築市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号))	承認
8	専決処分の承認を求めることについて (平成30年度杵築市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第4号))	承認
9	専決処分の承認を求めることについて (杵築市税条例の一部を改正する条例)	承認
10	専決処分の承認を求めることについて (杵築市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
11	専決処分の承認を求めることについて (杵築市税特別措置条例の一部を改正する条例)	承認

令和元年 第1回臨時会

令和元年第1回臨時会が5月8日に開会しました。
この臨時会では、議長・副議長及び一部事務組合議員等の選挙並びに各常任委員会等の委員の選任を行いました。また、市長から提出された報告を審議し、承認しました。

一般質問 Q & A

平成31年第1回市議会定例会では、3月4日、5日、6日の3日間にわたり、市政に関する一般質問が行われ14人の議員が諸問題について質問しました。
(一般質問した議員が原稿を作成し、基本的にその原稿を尊重して編集しています。)



ひしや
おさむ
泥谷 修議員

今後の行財政運営について

議員 杵築市の平成29年度經常収支比率は98.5%で、県下18市町村中17番目、合併市町村では最下位である。また平成30年度から經常収支比率が100%を超える見通しとなっているが、今後どのように考えているか。

財政課長 人件費では、定数管理と給与制度の厳格運用を行う。公債費は事業実施の取捨選択を行い、借入額を抑制したい。歳入面では、普通交付税について人口増減の度合いを鈍化させる施策を実施したい。市税は、徴収率の向上に努める。

議員 財政運営と行革は表裏一体の関係にある。専門的な部署を設置し、行革を推進する必要があるのでは。

市長 行革は大切であり、庁内3課で連絡調整会議を開催し、行革と財政と政策を連動させている。

議員 杵築中学校の埋蔵文化財保存関連経費も市の財政運営に影響を与えている。また、厚生労働省など外部からの人材登用も、人件費負担が市の支出となり經常収支悪化の要因となる。政策の実施にあたっては、財政状況や行革の取り組みをよく見て実施していただきたい。

乗合タクシーの存続について

議員 多くの地区で乗合タクシー存続の声を聞く。市としての考えは。

政策推進課長 現在乗合タクシーの中止は考えていない。今後利用状況等勘案し検討していきたい。



いわお
いくお
岩尾 育郎議員

市内事業者への支援について

議員 先般2016年の経済センサスが発表された。それによると杵築市内の事業所数が4年前と比較して9.7%減ということ、佐伯市と同率で県下のワースト1となった。国東市は4.2%の減、日出町は0.1%の増、豊後高田市は6.5%の減となっているが、県の中部北部では断トツで悪い数字が出ている。この結果について市としてどのように認識しているのか。

商工観光課長 経済センサスは、事業所及び企業の経済活動状況を明らかにすることを目的として、4年に1度、国が事業所の数や従業員数などの調査を行っている。事業者の減少は、地域雇用の減少につながるから市としても非常に憂慮している。現在、商工会と重点的に取り組んでいる企業創業の推進や企業

誘致に地道に取り組み、事業所の増加につなげたいと考える。

議員 進出企業に対する助成は種々あるが、既存の市内事業者が事業を拡大したり、新規事業に進出しようとした場合の助成制度はあるのか。

商工観光課長 新規に開業する場合の助成はあるが、既存の事業者に対する市の助成はない。

議員 進出企業が1社来ることによる雇用効果は確かに大きい、なかなか難しい状況にある。既存の企業が事業の拡大等により雇用を一人二人増やせば、10社あれば企業が1社進出したのと同じような効果が見込まれるのではないかと。既存の事業者を市としてしっかり応援する姿勢を見せることが必要ではないか。市長の考えは。

市長 市内の事業所がどのようなアイデアや悩みを持っているのかをこまめに把握することが大切と考える。その中で例えば商工会、そして市で先駆的な事業として取り入れられないか研究したい。



堀 典義議員

子育て支援(貧困対策)について

議員 市の具体的な推進策は。子ども子育て支援課長 「子どもの居場所b&gつき」を設置、小学生に食事の提供や学習支援を毎日行う。県内唯一の施設。

議員 子ども食堂の現状は。

議員 子ども子育て支援課長 市内3カ所で月1及び2回実施。

議員 全市的展開について。子ども子育て支援課長 各地区の住民自治協議会と協議したい。

議員 進学対策として、給付型奨学金が必要ではないか。子ども子育て支援課長 今国会に法案が提出された。注視する。

医療介護サービスについて

議員 医療介護連携の取組みは。

議員 医療介護連携課長 市民の満足度の向上に向け、事業者や市民向けの各種事業を実施している。

議員 市内受診率を上げる対策は。

議員 医療介護連携課長 在宅医療介護連携ガイドを病院などへ周知。

地域交通の確保について

議員 市内コミュニティバスの利用者数について。

議員 政策推進課長 乗り合いタクシーから変更した山香コースは12月〜1月の前年比62.1%の増加。

議員 利用者を伸ばす取組みは。

議員 政策推進課長 民間路線バスやJR日豊線などの時刻表も掲載した総合時刻表を初めて制作する。

213号線沿線の振興について

議員 アサリの取り組み状況は。

議員 耕地水産課長 有害魚駆除、ケアシエル網袋、被覆網設置など取組み、成果が少しずつ表れる。

議員 潮干狩り再開について。耕地水産課長 難しいが部分的開放など漁協と相談したい。

議員 213号沿線の活性化は。

議員 耕地水産課長 JR杵築駅から住吉浜までのレンタサイクル事業の社会実験を行った。好評であり今後漁協などと連携してカキ、ウナギなどのグルメイベントを開催したい。各種サイクルツアーリズム事業と本市のレンタサイクル事業と合わせて、誘客を強化する。

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



真砂 矩男議員

錦江橋の改修工事について

議員 錦江橋の改修工事の遅れについて。

議員 建設課長 新錦江橋は現在より低くなっているため交差点部を下げ、仮設迂回路を新設して工事を進める。11月末の供用開始を予定している。

議員 なぜ橋は低くなっていくのか。

議員 建設課長 高水位と橋梁の下面の高低差を下げ1.4mの余裕高とした。橋の土台は7基を4基にしている。

ゴルフ場予定地(野田)の利用について

議員 元ゴルフ場予定地に2〜3haでも工業進出予定地を造成しておく必要があるのではないか。

議員 商工観光課長 市が保有しているのは現在熊野地区に0.6haのみ。予定地は必要であるが、経費等の面で難しい。

市民会館建設について

議員

県下14市中会館がないのは杵築市だけ。市民が文化芸能に触れ貴重な行動やかけがえない思い出を胸に刻み、豊かな心、価値ある人生を歩むことができたいのは小さな町とはいえ寂しい。造る方向で検討することはできないか。

市長 市民の要望は理解しておりその可能性を探りたいと思う。現在の市庁舎が昭和61年に建設されその後改築、今年で33年目を迎えている。現実には手狭であり、多くの課題を抱えている状況から新庁舎整備に向けた検討も必要である。庁舎と市民会館的な建物、生涯学習館等の複合施設の可能性を検討することについて指示したいと思う。

その他の質問

- ・野上家の利活用について
- ・農業への企業参入について
- ・幼稚園の存続について
- ・市の財政健全化への取り組みについて



こはる
小春 稔 議員

市長の政治姿勢について

議員 中期財政収支により財政の悪化が懸念される状況にある。今後の財政健全化に向けてどのように臨むのか。

市長 地方が一般財源を投入せざるを得ない制度拡充を行った結果、本市を含む多くの自治体で財政調整基金を吐き出す結果となった。ここ数年絶対に必要な大型事業の実施により2023年度には公債費が27億円に達し、これが複数年続くと試算となった。これからは毎年度の予算措置を堅実かつメリハリの効いた予算編成を行う事によって財政の健全化を図る。

議員 基幹産業である農林水産業についての基本姿勢について。

市長 儲かる農林水産業の実現である。後継者が育ち雇用が生まれ加工販売を巻き込む6次産業化を進める政策としてスタートした「杵築ブランド」は当時9品目から44品目に拡大した。ふるさと納税の返礼品の増加や地域商社「きつとすき」による首都圏におけるフェアの開催により杵築の農林水産物や加工品

の良さを広めることができている。薬用植物についても今年から一般農家で30aの実証栽培を実施する。又いちご学校やファーマーズスクールについて柑橘や花きで技術指導を受けている。

議員 城下町観光客が急増してきた。インバウンド戦略について市長の考えを聞きたい。

市長 平成29年の観光客数は102万3,475人で前年比6%増となっている。外国人は9万8,001人で前年比80%増となつて来た。全体の1割を占める状況となっている。7ヶ国語の音声ガイド付パンフレットの配布や無線によるインターネットの接続できる環境整備やトイレの洋式化などに取り組んで来た。今年も楽しい時間を過ごしていただけるような取り組みをしていきたい。

道の駅について

議員 道の駅の県との協議と今後の計画は。

政策推進課長 現在実施している杵築インターにおける基盤整備検討調査事業を3月末まで終了し、引き続き大分県との費用負担等の協議を行いながら調査事業の結果に基づき道の駅の開設の可能性、費用対効果を精査したうえで開設の可否を決定する。

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



おの
よしみ
小野 義美 議員

農業振興について

議員 生薬栽培の今後の展望は。

市長 成分基準も合格し生薬会社からの要望もトン単位なので民間栽培へと拡大していく。

議員 有害鳥獣駆除報償金の支払いが8月以降無いのはなぜか。

農林課長 捕獲実績が大きく上回り予算不足だったが今後予算管理に努め早く支払う。

議員 花き栽培の振興対策は。

農林課長 県内有数の花き産地だが労働力不足解消や販売対策を図る。

議員 農林課長の農業振興の想いは。

農林課長 人づくり、物づくり、システムづくり、そして人口出口づくりである。

高齢者福祉について

議員 合併後の高齢者の人口推移は。

福祉推進課長 65歳以上が9,756人から1万6,511人で

9.2%の増、80歳以上は2,931人から4,078人で39.1%の増である。

議員 施設の利用状況は。

福祉推進課長 市内22施設、定員779人で737人の入所者である。

議員 独居者の安否確認は。

福祉推進課長 配食サービスや元氣コール等を行っている。

議員 高齢者福祉対策は。

福祉推進課長 住民自治協や高齢者サロン等の機能強化を図る。

雇用促進について

議員 市内の事業所数、従業員数は。

商工観光課長 1,170事業所、861人である。

議員 企業誘致対策は。

商工観光課長 企業誘致推進室を設け合併後14年間に15件の誘致に成功している。

議員 雇用対策は。

商工観光課長 創業チャレンジ補助金や中小企業振興資金制度等で、雇用の確保のための支援を行っている。



ふじもと じろう
藤本 治郎議員

高齢者向けサロンについて

議員 市内のサロンの運営の状況は。

福祉推進課長 市内全域に82カ所（杵築4山香26大田14）お世話役は全域で650名（各1〜5名）、社会福祉協議会と市から1人1回1000円を助成し、昨年度実績177万9,000円。

議員 まちかどサロンの状況と今後の増設計画は。

福祉推進課長 月曜から金曜に開設、年間利用者は杵築地域5,264人、山香地域4,480人1日平均20人前後の利用、委託料は約800万円で1人当り約600円、増設計画は経費上厳しい、課題は送迎が無いため利用者が限られること、将来は地域にお願いし、経費を抑え全小学校区に開設したい。

議員 地域運営型サロンの現状と今後の支援は。

福祉推進課長 昨年の調査で、

担い手不足の為6カ所が休止、今後はモデルサロンを選定し調査を深め課題解決に努めたい。

議員 サロンは重要な拠点、地域運営型を求めるなら支援は必要、市長の想いは。

市長 基本的な考え方は議員と同じ、年金で暮らすのも厳しい時代になる。サロンで月に2回でも食事の提供や健康相談ができると効果はでる、投資をしなから次の段階に進みたい。

議員 住民が楽しく参画できるシステムを構築して欲しい。

道の駅構想の今後について

議員 杵築ICで本当に開設するのか。

政策推進課長 今年6月に決める。

議員 杵築ICは反対だ、巨額な投資と発展性をよく考えて欲しい。

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



このの まさはる
河野 正治議員

市立山香病院について

議員 平成30年度決算見込みについて。

病院事務長 総収益26億5千5百万円、総費用27億2千万円、当期損益6千6百万円の赤字予想となっている。

議員 病院の介護及び調理員の確保について。

病院事務長 常時人員確保に努めているが、現状充足状態になり。対応策として今後正規職員の募集を考える。

議員 外来患者の通院手段の確保について。

病院事務長 市内医療機関と連携した通院手段の確保を考えた。

議員 在り方検討委員会答申による一定期間の目安2020年をどう捉えているのか。

医療介護連携課長 病院建て替えの検討は2020年を一つの再開の目安としているが、山香病院の経営基盤を確立することが優先されると考える。

議員 現在の本館を大規模改修することは考えられないのか。

医療介護連携課長 病院の建て替えは自己資金と起債の借り入

れで行う。できるだけコストを縮減した工法を検証する必要がある。大規模改修については選択肢の一つとして検討を行っていききたい。

交通通信網の整備について

議員 「ふるさと支援農道速見地区」とはどのような計画か。

耕地水産課長 山香グリーンエコランドから日出町藤原の国道10号を繋ぐ、全長8キロメートルの道路整備で、農業文化公園までのルートが完成する計画である。

議員 事業実施にあたり課題等はあるのか。

耕地水産課長 事業関係自治体が杵築市と日出町であり、整備区間の2キロメートルが杵築市、6キロメートルが日出町となっている、日出町の同意を得る必要がある。

議員 県道山香国見線から杵築インターまでの道路整備に係る請願後の経緯をお伺いする。

建設課長 杵築市総合計画実施計画に、今畑大片平道路として計画しているが、事業計画化できていない。

議員 県道山香国見線の小武交差点から県道大田杵築線への道路整備はできないか。せめて調査費を投入して検討すべきではないか。

建設課長 調査を実施する。



渡辺 雄爾議員
わたなべ ゆうじ

空き家対策について

議員 空き家バンクの仕組みについて。

協働のまちづくり課長 市内の空き家の売却、または賃貸を希望する所有者から登録していた物件情報を市のウェブサイトを介して紹介し、空き家情報を提供する制度である。

議員 空き家バンクの登録数は。

協働のまちづくり課長 64件の物件の登録がある。

議員 家主と借主の契約に行政は介入できないか。

協働のまちづくり課長 行政は介入できないが市内不動産業者一覧表を作成し配付するとともに、契約行為のサインは不動産業者へ仲介を依頼するよう推奨している。

議員 仲介手数料は補助できないか。

協働のまちづくり課長 5万円を上限として補助している。

防災対策について

議員 先人が残してくれた古文書、津波高を示す石碑等を検証すれば事前に災害を教訓として、今から起こり得る災害が十

分に対応できるのでは。検証を行った事はあるのか。

危機管理課長 検証した事は無い。

議員 今後検証行う予定は。危機管理課長 調査をしてみた。

人事評価制度について

議員 どういった内容か。

副市長 平成28年度から導入している。職員の職務遂行状況の確に把握し、効果的に人材育成につながる事を目的にしている。

議員 達成度、評価の成果は。

副市長 職員みずから設定した目標をコントロールしながら、その達成に向けて取り組み、自己評価により自分を客観視する事で自分の強みや弱みを気づく事ができ、職員の能力の向上が図られる。もう一つは目標達成のための課題の明確化により、組織の活性化が図られている。

議員 突出した、頑張っている職員を高く評価できないか。

副市長 職員ごとに職務内容が異なるため、なかなか難しい。

議員 画期的なアイデア、実績ができた時は評価できないか。

副市長 表彰する規定があるので表彰したいと思っている。

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



田原 祐二議員
たはら ゆうじ

ピロリ菌検査について

議員 厚労省の指針で、ピロリ菌検査は死亡率減少効果を示すエビデンスが十分でないため、

当市では、オプション検査のみである。県内ではすでに11市町村で実施され、胃がん撲滅に向けて効果が出ているようだが、その後の当市での進展はどうか。

健康長寿あんしん課長 国が定めた「がん対策推進基本計画」

では、がんの早期発見及びがん検診の取り組むべき施策の中で、「市町村は指針に基づいたがん検診の実施及び精度管理の向上に取り組む」と示されており「ヘリコバクターピロリ菌除菌の胃がん発症予防における有効性等について国内外の知見を速やかに収集し、科学的根拠に基づいた対策について検討する」とされてお

り、今後も国の動きを注視していきたい。

議員 当市はがん検診の受診率が低い。がんは早期発見・治療により完治が期待できるので、

がん検診の受診率向上を望む。胃がん等で命を落とす人が無くなることを願う。

商店街の道路整備について

議員 商店街の道路は整備されているが、一部では道幅が狭く、車の往来も困難な箇所がある。歩行者からも「歩きにくい、整備してほしい」との声がある。整備すべきではないか。

政策推進課長 平成31年度から北台・南台の重要伝統的建造物群保存地区を核とした周辺地区の保全・整備の方針を定める「歴史的風致維持向上計画」の策定に取り組む予定。現状では難しいと思われるが、協議していきたい。



あべもとなり
阿部素也議員

犬猫殺処分ゼロについて

議員 おおいた動物愛護センターの目的は。

生活環境課長 犬猫の殺処分を減らすための飼い方の指導、動物愛護について学習できる施設。保健所が行っていた犬猫の保護も行う目的である。

議員 杵築市及び市民の利用は。

生活環境課長 犬猫を直接持ち込むことができる。当面は週2回センターの職員が巡回する予定。それに合わせて、引き取ってもらうこともできる予定。また、有料のドッグラン、動物の検査・治療室を備えている。

議員 杵築市としての取り組みは。

生活環境課長 動物がその命を終えるまで適切に飼ってもらおうように啓発する。安易なおおいた動物愛護センターへ持ち込むことのないように徹底していきたい。

議員 介護サービスを利用して、側がペットの扱いに苦慮されて

いるようだが。

医療介護連携課長 市内でも相談がある。

議員 福祉の観点からの取り組みも必要では。

福祉推進課長 高齢者がペットを飼うことは健康維持につながる。認知症にも効果があると言われる。一人暮らしの高齢者にとっては心の支えや生きがいになっている。一方で、自分で飼育できなくなった時の準備も必要。そのため環境整備が必要だと考える。

議員 市民の皆さんも一緒にこの問題に協力してほしい。

職員の災害派遣について

議員 合併以降延べ70人の職員さんが派遣された。どのように杵築市に生かされているか。

副市長 派遣された職員の報告会を2回開いている。

議員 貴重な体験を市民に伝えることも必要では。

副市長 出前講座等を通じてそういうことができると考えている。

その他の質問

- ・「県まち・ひと・しごと創生本部」会議の内容（※県ホームページにアップされている）
- ・災害備蓄品の整備方針について

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



かく
加来 喬議員

財政計画と市政運営について

議員 国税徴収法で禁止されている、給与や年金の生計費相当分や児童手当などの福祉給付分の差し押さえを行っているのか。

税務課長 振り込まれた給料は、全部押さえる。

議員 口座に、児童手当などの福祉給付分が入っている場合は。

税務課長 考える猶予が必要と思う。

議員 猶予があるのではなく、差し押さえとはいけない。法で定める差し押さえ禁止額の範囲を超えた徴収をやめるべきだ。

議員 杵築市は財政難か。

市長 今時点で財政難ということではなく、将来的に財政難に陥る可能性が高いということ。

議員 杵中、給食センター、ケーブルテレビの3事業を行った後は何も事業ができないのか。

市長 起債としてはこれ以上10億程度で打ち止めしないと、大変厳しい状況が続く。

議員 杵中建設費が48億円から61億円に13億円も増えた責任を認めるべきでは。

市長 杵中の敷地内に当初の予測よりもはるかに重要な遺構が出た。借金は背負ったが、重伝建の指定で観光地レベルが上がった。長い目で見れば、杵築の発展に必要なもの。

議員 財政計画では3年間で3億円人件費が増加する。消費税が8%に上がったから実質賃金は落ち込んでいるのに、昨年、一昨年にボーナスを上げた。人件費についても取り組まないと市民の理解は得られない。借金減額のために減債基金を活用できないか。

財政課長 繰上げ償還を行う場合に減債基金を活用するので、減債基金の取崩しは盛り込んでいない。

議員 合併振興基金はケーブルテレビに、地域活力創出基金は市民会館に活用できないか。
財政課長 ほかの事業もある中で、金額の多少は生じるが、できないことはない。できる。



にのみやけんたろう
二宮健太郎議員

幼児教育の在り方について

議員 今年10月より幼児教育・保育の無償化に向けて政府が方針を決定したが杵築市の対応は、**子ども子育て支援課長** 3歳から5歳までですべての子どもの幼稚園、保育所、認定こども園の利用料を無償化する。また子ども・子育て支援制度の対象とならない企業主導型保育事業所などについても無償化の対象となる。0歳から2歳についても現在、住民税非課税世帯の第2子以降が無償化されているが範囲拡大により第1子から無償化になる。

また、幼稚園の預かり保育、認可外保育施設等の利用料、子ども・子育て支援法に基づく一時預かり事業、病児保育事業、ファミリーサポートセンター事業が無償化の対象。利用者全体への影響額は月額約310万円、年額にして3,700万の利用者

負担減となる見込みである。

行政区の適正化について

議員 杵築市の行政区の状況について。

副市長 杵築が84区、山香74区、大田14区、計172区の行政区。また、加入する世帯数は最小が3世帯、最大が622世帯である。

議員 3世帯でも区長という現状。このままでいいのか。区割り再編を行政で考えないのか。

副市長 昨年の11月に杵築市区長連合会から杵築市行政区再編等の検討にかかわる要望書が市長あてに提出されたことを受け、平成31年度に学識経験者・有識者・行政区長など、行政区再編にふさわしい委員の選任をし「杵築市行政区再編等検討委員会」を3回実施をする。世帯数、区の統合も視野に入れ議論を行い今後の行政区のモデルを決定していきたい。

議員 行政区の見直しをしっかりと考え地域の問題解決に取り組んで欲しい。



たなかしろうじ
田中正治議員

合併特例債について

議員 合併特例債の利用状況と合併に伴う財政処置状況について。

財政課長 合併に伴う交付金（大分県合併推進交付金）（平成16年～21年）で6億円と合併推進体制整備補助金（平成18年～23年）3億円の合計、9億円が交付。使途は住民基本台帳、課税システム等電算統一、各庁舎間の光伝送路、文化体育館備品整備、山香病院健診センター整備、電算システム統合経費、ケーブルテレビの加入促進事業の補助などに活用。合併特例債については、建設事業に充当する起債事業分と基金に借入額と一般財源を組んでの基金造成事業分とがある。基金造成分については、5年間（年3億5千万円）で計17億5千万円を積み立て、取り崩しもしている。基金からの充当分は、藤ヶ谷清掃センター整備、

環境浄化組合負担金など、29年度末基金残高は、15億953万円。建設事業に充当する合併特例債を活用した事業は、山香地区、大田地区のケーブルテレビ整備事業、文化体育館整備、杵築中改築事業、大田小整備、大田こども園建設、その他各小中学校の大規模整備・耐震補強等など29年度末起債合計89億360万円。30年度末で、杵中改築、各小学校の空調整備、ケーブルテレビ事業、県道工事負担金などに活用し起債合計90億9670万円。又、平成31年度末予定は、ケーブルテレビ事業、杵築中改築、県道工事負担金で、起債合計102億8,610万円。発行可能残額17億1,390万円をケーブルテレビ事業に充当予定。起債合計120億円の合併特例債となる。合併特例債の元金償還を毎年度行っている。

その他の質問

・どくとテレビの定点カメラについて
・常備消防の県一本化について

提言書提出について

第1回定例会において、「山香病院の今後について」という議題で自由討議を行いました。様々な意見を集約し「杵築市の地域医療を考える特別委員会」の提言書としてまとめました。

また、「杵築市新浄水場建設に係る調査特別委員会」では6回に及ぶ委員会を開催し、協議してきた内容を取りまとめ、提言書を作成しました。

いずれの提言書も、議会最終日に中山田議長が藤本「杵築市の地域医療を考える特別委員会」委員長、泥谷「杵築市新浄水場建設に係る調査特別委員会」委員長同席のもと、市長に提出しました。



提言の内容(一部抜粋)

「杵築市の地域医療を考える特別委員会」*杵築市立山香病院の今後について

- ・公立病院とはいえ、あくまでも収益事業所である以上、立地条件や建物の老朽化も大きな問題ではあるが、施設を活かせる医師・看護師等の人材確保と患者への接遇改善が経営改善へ繋がるものと思われる。
- ・建て替え問題については、時代がスピード感を求める中、大きな事業経費が必要とされるため、他の事例を取り込みながら、将来を見据えた経営計画を作成し、「公立病院といえども民間病院という意識」で柔軟性を持って行動してほしい。

「杵築市新浄水場建設に係る調査特別委員会」

- ・良質な水源の割合を高めることにより、浄水施設の規模縮小を図り、施設整備に要する事業費の縮減を検討すべきである。それらの方策を講じることにより、新浄水場建設に伴う水道料金が高騰することのないよう、市民への負担を抑制すべきである。

令和元年 第2回定例会日程予定

※正式な日程は議会運営委員会で決定します。

5月29日(水) 開会

6月3日(月) 一般質問

6月4日(火) 一般質問・議案質疑

6月6日(木) 一般質問予備日

6月14日(金) 産業建設常任委員会

6月17日(月) 厚生文教常任委員会

6月18日(火) 総務常任委員会

6月20日(木) 閉会

一般質問の再放送は、一般質問が行われた週の土日に放映されます。



広報広聴委員会
委員長 藤田 原 祐二
副委員長 宮本 治郎
委員 藤田 健太郎
二宮 一郎
工藤 竜一
多田 忍

日頃より、「きつき市議会だより」をご愛読下さいましてありがとうございます。今回の改選に伴いまして、新しい広報広聴委員会のメンバーが決定いたしました。今後の作成にあたっては市民の皆さまにとつて分かりやすく、より身近なものになるように心がけてまいりますのでどうぞよろしく願います。

編集後記